

学校教育目標：“自ら学び 共に生きる 心豊かで たくまいる生徒の育成”

令和2年度
豊田南中学校
学校だより
第11号

南中賛歌

令和3年2月8日発行
文責 教頭 杉田 直樹

「美しくあいさつ 明るく歌声 そとボランティア」

<https://toyodaminami-j.city-iwata.ed.jp/>

「感謝」～生きることが当たり前にならない解決策～



1月25日に放送による生徒集会がありました。豊田南中学校では、1年間を「基礎」「挑戦」「団結」「向上」「感謝」の5つのステージに区切っています。1/25～3/19は、最後の「感謝」のステージです。

生徒会役員が「快樂適応」について説明した後、「生きることが当たり前にならない解決策は？」と全校生徒に問いかけました。

「当たり前」の対義語は「有り難い」です。「ありがとう」という言葉を声に出して言うこと、当たり前と感じてしまうことに「感謝」の気持ちをもつこと、それが幸福を感じながら生きていくことにつながると思います。1年間ともに学校生活を過ごしてきたクラス、仲間に、学習や部活動などで支えてくれた先生、地域の方、毎日の生活を支えてくれた家族に、「感謝」の気持ちを持ち、「ありがとう」を伝えながら進級、卒業に向けて成長して行ってほしいと考えます。

あいさつの力～「美しくあいさつ」とは？～

本校では、毎朝、保護者の皆様や地域の方々子どもたちの登校を見守ってくださっています。自転車の乗り方や、踏切の渡り方など、声を掛けてくださり、報告をしていただいています。その報告用紙にこんなことが書かれていました。

「おはよう、いってらっしゃい。気を付けてね～」と声を掛けると1人の男の子は「おはようございます。行ってきます。」と返事をしてくれました。「行ってきます。」の一言、とてもうれしく思いました。その日は、旗振りをして、とても、いい一日になりました。うれしい一言でした。

私自身も、登校指導をしていると、地域の方から「おはようございます。かぜひかないようにね。」などと声を掛けられ、とてもうれしい気持ちになることがあります。あいさつには人の心を温かくする、人の心を開く力があるように思います。豊田南中学校では、合い言葉にしている南中賛歌に「美しくあいさつ」とあります。さらに「あいさつ」の輪が広がっていくことを願っています。



おはよう



職業体験学習(2年生)

2月4日に2年生が職業体験学習を行いました。コロナ禍のため、2日間の予定を1日に短縮して約40箇所の事業所様の協力を得て、貴重な体験をさせていただきました。

仕事に対するやりがい、楽しさ、責任の重さ、大切にしていることなど、それぞれの体験先で学んだようです。生徒は、事業所様へのお礼状を書き、学んだことをレポートにまとめています。ほんの僅かの経験でしたが、将来の職業選択に向けて役立つことを願っています。御協力いただいた事業所の皆様、本当にありがとうございました。

